

2025 年のベトナム経済指標

ベトナム統計総局（GSO）が発表した 2025 年の経済社会統計によると、同年のベトナム経済は、輸出や製造業、観光の回復を背景に高い成長を維持しました。インフレは政府目標の範囲内に抑制され、外国直接投資や鉱工業生産も堅調に推移しました。

●GDP（国内総生産）：実質 GDP 成長率は前年比 8.02% となり、国会が掲げた「8%以上」の成長目標を達成。2011 年以降では 2022 年（8.54%）に次ぐ高い成長率を記録しました。部門別では、農林水産業が 3.78% 増、鉱工業・建設業が 8.95% 増、サービス業が 8.62% 増となり、宿泊・飲食サービスなど一部のサービス分野では 2 桁成長を示しました。名目 GDP 規模は約 5,140 億米ドル、一人当たり GDP は 5,026 米ドルに達し、前年（4,700 米ドル）から着実に上昇しています。

●鉱工業生産：2025 年通年では 9.2% 増となりました。主力の製造・加工業は 10.5% 増と高い伸びを示し、鉱工業全体の成長を牽引しました。製造・加工業の内訳を見ると、繊維や靴、コンピューター・電子・光学機器などの輸出関連分野が堅調だったほか、自動車は通年で 35% を超える大幅な増加となりました。

●消費者物価指数（CPI）：平均消費者物価指数は 前年比 3.31% 上昇し、政府が目標とする 4.5～5.0% の範囲内に抑えられました。住宅・建設資材や食品・食品サービスの価格上昇が全体を押し上げる一方、運輸や情報通信分野では価格低下も見られ、インフレは比較的安定した推移となりました。

●貿易収支：輸出総額は 4,750.4 億米ドル（前年比 17.0% 増）、輸入総額は 4,550.1 億米ドル（同 19.4% 増）で、貿易総額は 9,300 億米ドルを超えるました。貿易収支は約 200 億米ドルの黒字でしたが、前年（約 249 億米ドル）からは黒字幅が縮小。最大の輸出先は引き続き米国で、対米貿易黒字は前年比 28% 増加した一方、最大の輸入元である中国との貿易赤字は拡大しています。輸出品目では、電子機器・コンピューター・電子部品が最大となり、外資系企業が輸出の 7 割以上を占めました。

●外国直接投資（FDI）：投資登録額は 384.2 億万米ドル（前年比 0.5% 増）にとどまり、2023 年以降ほぼ横ばいの推移です。新規投資件数は増加したものの投資額は減少。国・地域別では、シンガポールが最大の投資国となり、中国、香港、日本（約 16 億米ドル）と続きました。業種別では製造・加工業が中心で、続いて不動産業となっています。一方、FDI の執行額は過去 5 年で最高水準の 276.2 億米ドル（前年比 9% 増）を記録し、特に製造・加工業への投資が全体の 8 割以上を占めました。

●外国からの観光客：2025 年にベトナムを訪れた外国人旅客数は約 2,117 万人で、前年比 20.4% 増となりました。国・地域別では、中国が約 528 万人と最多となり、韓国、台湾、米国、日本が続きました。

2025 年のベトナム経済は、GDP 成長率 8% 超という高い成長を維持し、製造業や輸出、観光が経済を牽引しました。1 月に開催された第 14 回共産党大会では、2026～2030 年の成長率を「年平均 10% 以上」と野心的な目標が掲げられる一方で、主要金融機関が発表した 2026 年のベトナムの経済成長率予測は 6.3～7.5% 程度となっています。